【米田主宰の俳句】

旅遥か

米田規子

木を伐って青空と雲夏はじめ

アップダウンいつもの小径海紅豆

小判草夕日の無人直売所

よろこんでくれる人いる桃熟れる

梅酒の琥珀雨音にねむる夜

旅遥かベルガモットの花に虻

つゆの晴れ奥に富山の置き薬

まず外す大きなマスク木下闇

これからも安全な距離冷奴

連弾の息を合わせてアガパンサス